

春日井市からの障がい者の社会参加に関する アンケート調査のお願い

日頃は、本市の福祉行政につきまして、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このアンケートは、**春日井市障がい者総合福祉計画**の改定にあたり、各種施策の参考とするために皆さまのご意見をお伺いするものです。

ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成22年11月

春日井市長 伊藤 太

記入上の注意

- 1 黒の鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 2 記入が終わりましたら**12月●日（●）**までに同封の返信用封筒（差出人の住所、氏名の記入は不要です。）にてご返送ください。
- 3 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないよう全て数字として扱い、統計的に処理させていただきます。

〔問い合わせ先〕 春日井市 健康福祉部 障がい福祉課

電話：0568-85-6186（直通） FAX：0568-84-5764

あなた自身についてお聞きします

問1 あなたの性別について、どちらかに○をつけてください。

1. 男

2. 女

問2 あなたの年齢を記入してください。（平成22年**11**月1日現在）

満 _____ 歳

問3 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 農林漁業

2. 商工サービス業

3. 自由業

4. 管理職

5. 専門技術職

6. 事務職

7. 労務職

8. 主婦

9. 学生

10. その他（ _____ ）

共生社会についてお聞きします

問4 「共生社会」とは、障がいの有無等にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあります、賛同できる | 2. 聞いたことはあるが、賛同できない |
| 3. 聞いたことはないが、賛同できる | 4. 聞いたことはなく、賛同できない |
| 5. わからない | |

問5 これまで、あなたの身近に障がいのある人がいたことはありましたか。また、それはどのような場面でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 自分自身又は家族等身近な親族 | 2. 学校 |
| 3. 自分の職場 | 4. 仕事関係（自分の職場以外） |
| 5. 隣近所 | 6. 趣味等の活動 |
| 7. その他 | 8. 身近にいたことはない |
| 9. わからない | |

問6 あなたは、将来において自分や家族が障がいのある状態になることがあり得ると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 十分あり得ると思う | 2. ある程度はあり得ると思う |
| 3. どちらともいえない | 4. あまりあり得ないと思う |
| 5. ほとんどあり得ないと思う | 6. 現在自分や家族に障がいがある |
| 7. わからない | |

問7 成年後見制度について、**知っていますか**。どちらかに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問8 あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたことがありましたか。どちらかに○をつけてください。

1. ある

2. ない

問7-3へ

問8で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問8-1 それはどのような気持ちからですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから
2. 近所付き合いや親戚付き合いなどで
3. 困っているときはお互い様という気持ちから
4. 自分の仕事に関連して
5. 将来、自分も障がいをもつ可能性があるから
6. 何となく
7. その他 ()
8. わからない

問8-2 それはどのような話や手助けでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 席をゆずった
2. 横断歩道や階段で手助けをした
3. 車椅子を押した
4. 一緒に遊んだ
5. 家事や買物などの手伝い
6. 入浴や着替えなどの手伝い
7. 相談相手、話し相手
8. 手話、点訳、音読など
9. 寄附等の金銭的な援助
10. 募金活動
11. その他 ()
12. わからない

問8-3 **問8**で「2. ない」と答えた方にお聞きします。

その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. たまたま機会がなかったから
2. 自分が何をすればよいかわからなかったから
3. どのように接したらよいかわからなかったから
4. お節介になるような気がしたから
5. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから
6. 自分にとって負担になるような気がしたから
7. その他 ()
8. 特に理由はない
9. わからない

問9 あなたは、世の中には障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. あると思う | 2. 少しはあると思う |
| 3. ないと思う | 4. わからない |

問10 あなたは、5年前と比べて障がいのある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. かなり改善されている | 2. 少しずつ改善されている |
| 3. あまり改善されていない | 4. 改善されていない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

問11 障がいのある人とない人が同じように生活していくために必要とされるこうした配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともありますが、あなたはどうしますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行う
2. 可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う
3. 負担がなければ、配慮や工夫を行う
4. 配慮や工夫を行うことは難しい
5. 一概にいけない
6. わからない

問12 あなたは、障がいのある人のために企業などの民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 障がいのある人の雇用の促進
2. 障がい者になっても継続して働くことができる体制の整備
3. 障がいや障がいのある人への理解を深めるための研修の実施
4. 障がいのある人の雇用の促進やスポーツ、文化、レクリエーション活動への支援
5. 障がいのある人に配慮した事業所等の改善・整備
6. 障がいのある人に配慮した商品の開発
7. 職場での精神的な不安を解消する相談体制の整備
8. 職場での事故防止体制の充実
9. 障がいのある人を支援するための介護休暇制度やボランティア休暇制度の充実
10. 障がい者団体に対する経済的支援
11. 障がいに関連する分野での国際協力の推進
12. その他 ()
13. わからない

障がい者の人権についてお聞きします

問13 次にあげるもののうち、障がいのある人の人権について特に問題があると思われることは何ですか。(3つまで)

1. 差別的な発言や行動を受けること
2. 道路の段差や駅の階段など、外出に不便をともなうこと
3. 学校、職場での生活で不利な扱いを受けること
4. 働ける場所や機会が少ないこと
5. スポーツや文化活動、地域活動等に気軽に参加できないこと
6. 障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと
7. 障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと
8. その他(具体的に: _____)
9. わからない
10. 特に問題と思うことはない

障がい福祉サービスについてお聞きします

問14 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけ、どのような点でそう思うのか記入してください。

1. かなり進んだと思う (_____)
2. 少し進んだと思う (_____)
3. あまり進んだと思わない (_____)
4. ほとんど進んだと思わない (_____)
5. どちらともいえない (_____)
6. わからない

問15 あなたが今後、特に充実すべきだと考える障がい者の施策について、あてはまるものに5つまで○をつけてください。(無理に5つを選ぶ必要はありません。)

1. 障がい者の雇用促進
2. 相談窓口や相談指導をする体制の充実
3. 生活介護（デイサービス）などの充実
4. 短期入所（ショートステイ）などの充実
5. 専門的機能回復訓練などのリハビリテーションの充実
6. 家事や介助のためのホームヘルパーの派遣
7. 外出時の付き添いのためのガイドヘルパーの充実
8. 障がい者向けの公営住宅の整備
9. 賃貸住宅への入居の支援（保証人がいない場合など）
10. 公共施設のバリアフリー化の推進
11. 交通機関の充実や移動支援の充実
12. 授産施設などの福祉的な仕事の場の整備・充実
13. 住宅改修補助制度などの充実
14. スポーツ・文化・レクリエーション活動の支援
15. 療護施設や福祉ホームなど入所できる施設の整備
16. 障がいのある子どもの療育の場の整備・充実
17. 障がいのある人への情報提供の充実
18. 学校と関係機関の連携の強化
19. 高齢で障がいが重くなったときに生活できる施設の整備
20. 地域の人との交流の場の充実
21. 災害や具合が悪くなったときなど緊急時の支援体制の充実
22. 障がい者の理解に関する社会啓発の促進
23. その他（)
24. わからない

